

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2017～2018主題】

国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム 「Let us all Walk in the Light-Together」
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao 「Respect Y's Movement」
 東日本区理事 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
 あずさ部長 大野 貞次 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
 東京武蔵野多摩会長 板村 哲也 「変化」

【クラブ役員】

会長 板村哲也
 副会長 大輪匡史
 宮内友弥
 会計 山口直樹
 書記 麻生由美子

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang(韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2017年
10月の聖句

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。
(コロサイの信徒への手紙 3章23節)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す

10月例会プログラム

強調月間：EMC-E、YES
 日時：10月11日(水) 18:30～21:00
 ※開始時間が通常と異なります、ご注意ください
 八王子との合同例会です。
 場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター
 司会：山口 受付：宮内、鈴木
 ドライバー：野尻

第1部：18:30～18:45

- *開会点鐘(会長)
- *ワイズソング
- *ゲスト・ビジター紹介(会長)
- *連絡・報告事項

第2部：18:45～19:30

- *YVLF参加者報告
- *全国リーダー研修会参加報告

第3部：19:30～19:45

- *小林さん入会式
- 紹介：大輪 司式：板村
- *閉会点鐘

第4部：19:45～

- *懇親会

*今月のハッピーバースデー

- 鈴木さん(4日)
- 江夏さん(16日)
- 伊佐さん(21日)
- 野尻さん(27日)

まちおこし隊がやって来た!

麻生 由美子

残暑の中、高円寺の阿波おどりに合わせて、息子のスイーツカフェに佐賀県から地域まちおこし隊がやって来た。彼は息子の学生時代、上高地アルバイトの仲間である。エミューのコロッケ、ゴルビーのタルト、新鮮アスパラの Pasta、基峰鶴の日本酒等通常のメニュー以外で2日間、佐賀の味と香りを楽しませてもらう。たった一人で来て頑張っている地域まちおこし隊の彼を店の関係者は勿論、友人、地域の仲間達や常連のお客様又阿波おどりの方達等皆が気持ち良く協力し、又アドバイスあり、差し入れあり!とてもホットな素敵な時を共有する事ができた。若者のチャレンジ精神を若い仲間達は勿論シニア族も皆で支えももっとも協力して、まだまだ沢山の楽しい事、素敵な事、感動出来る事があるような、そんなワクワクする今日この頃である👍



〈麻生さんと板村会長〉

9月例会報告

在籍者	12名	ゲスト	3名
出席者	10名	ビジター	0名
メーキャップ	2名	ネット・コメント	1名
出席率	100%	にこにこ	6840円

入会にあたって

小林 文彦

この度、東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブへ、入会させていただくことになりました小林文彦と申します。入会にあたりましては板村会長、大輪匡史さんなど多くのワイズの方にご協力いただきました事、感謝を申し上げます。

私とYMCAの関わりを簡単に説明させていただきます。最初の出会いは、高校1年生の時、神田美土代町に有りました東京YMCA会館の地下室の中央ランチ少年部に参加したことに始まります。少年部には土曜日の午後、様々な中学校や高校からメンバーが集まってきて、いわば文化部の部活動のような活動をしていました。その時に加わったグループTENDONには大輪匡史さんや麻生由美子さんがメンバーとして在籍し、リーダーを笈川光郎さんが務めていました。

大学生時代、夏場は野外教育のリーダーとして野尻湖や山中湖のYMCAキャンプ場の駐在リーダーとして活動、それ以外の季節は目黒ランチで主にサイクリングのリーダーとして活動をしていました。その際に山口直樹さんや長津徹さんが先輩リーダーとして活躍しており、今回の入会にあたり再び同じ活動ができる事を楽しみしております。

以前にも少しのべさせていただきましたが、リーダー時代に事務室で次の活動準備などで印刷物を作っていると、時々活動室に主事と大人の方々が集まり小難しい会議をしているけど、あれは何なのだろうか、と言う疑問がありました。いま思うとワイズの例会が開かれていたのではないかと思います。認識不足かも知れませんが、リーダーにとってワイズの活動は見えにくいものになっているのかも知れません。



2017年9月例会報告

日時 9月13日19時～ 会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター

司会：麻生 受付：山口、清水 ドライバー：野尻 メンバー：10名 ゲスト：3名

国立市公民館の井口さんと国立市児童青少年課の庄司さんから、国立市における児童・青少年に対する事業の実態を伺った。主な内容と個人的な感想を少し。

国立市での子ども対象の地域活動はここ1-2年で急速に増加してきた。内容としては居場所づくり、学習支援、食事提供、遊び場提供などである。

公民館としての取り組みは、障害の有無を越えた活動として、青年を対象とした「喫茶わいがや」が1980年代から活動している。また、最近増加している様々な地域活動のネットワークづくりを行っている。また、国立市としてもこどもの居場所づくりを活性化させる取り組みを行っている。様々な活動へ補助金の交付などを行っているとのこと。活動内容は、食事の提供、学習の支援、遊び場活動であるが、それぞれその地域や成り立ちによって内容は違っている。また、それぞれの活動にかかわる人数は違うが、20名くらいは必要であろうとのこと。課題は安全の確保と周知の方法など。子供食堂では食品衛生管理の資格の取得や保健所との対応も必要となってくる可能性があるとのことであった。



これらの活動から見えてくるものは、子どもの貧困、子育ての不安、いじめ、引きこもり、居場所の減少、つながりの希薄化、地域力の低下、仕事と子育ての両立の大変さなどがあるとのこと、これらの問題が近年急速に高まってきていることを実感した例会であった。

以下、私の感想を少し。

今子どもたちの置かれている状況は今までとは違った状態になってきている気がする。根本には親を中心とした家庭の問題、また社会の問題などにたどり着く。社会が非常に速いスピードで変化する中で、社会そのものがその変化に翻弄され焦っていく。様々な歪み生まれ、またそれによって社会が変容していく。そのことで我々が翻弄されていく中で、当然子どもたちにしわ寄せが行っている図式が見えてくる。

私がかかわっている国立市社会福祉協議会で、これから10年間の第三期国立市地域福祉活動計画を策定した。その中で目指すまちの姿を「誰もが自分に合った「居場所」を持てるまち」とした。そこでいう居場所は、物理的なものだけでなくその人の存在そのものが肯定される場所と考えた。誰もが、すべての人が、尊厳をもっていきいきと地域で暮らしていける居場所である。

子どもの居場所に関してのかかわりが、新しい地域構築のきっかけになっていくことができれば幸いである。また、ワイズやYMCAがどこまでかかわれるのかが問われていると思う。

(記録：山口直樹)

この夏、東京武蔵野多摩クラブからの推薦でタイで行われたAYCに参加した西東京センターのスタッフの廣瀬さんから感想をいただきました。

AYC感想

廣瀬 匠 (Takumi Hirose)

私はYMCAのキャンプに小学生から参加し、ボランティアリーダーを経てスタッフとして働く今、日本国内におけるYMCAネットワークの広さを感じてはいましたが、世界へ目を向けることはありませんでした。今回AYC (Area Youth Convocation) に参加したことは、YMCAの世界的規模を知るきっかけとなりました。またYMCAの歴史、Y's Men'sクラブの歴史を学び、誰に支えられ、何のために運動しているのか、理解を深めることができました。初めて訪れるタイは、私にとってAYCの魅力の一つです。

学生時代は外国の歴史や文化、経済について学んできました。東南アジア地域としてタイは有名ではありますが、これまで旅行ではもちろん、文化も言葉にも触れてこなかったタイに大きな楽しみと少しの不安を持って旅立ちました。

異文化を知ることに関心があった私にとって、現地の小学校を訪れて子どもたちとゲームや話をして過ごした時間はとても楽しいものでした。文化は違って、楽しいことには笑顔になり、言葉を互いに上手く伝えられなくとも、何とか想いを伝えようと努力をする。異文化交流とは、歴史や土地を知るだけではなく、現地の人々との触れ合いこそ大切であると感じます。

各セッションでは定められたテーマを基にグループごとに意見を出し、まとめる時間がありました。言葉の壁という難しさはありますが、勇気を持って踏み込んで話せば誰もが受け止めてくれます。壁を作っていたのはある意味自分自身であったのではないかと気付く瞬間でもありました。

私たち日本のユースは4日目朝にディボーション（祈祷）を担当しました。テーマは「過労死について」。これまでこういった問題を知ってはいても向き合うことはありませんでした。それは他のユースメンバーも同じではないでしょうか。疑問に思っていたこと、日本における取り組みを調べて話していくことで、私たち自身が問題意識を持つようになり、気がつけば日付が変わるまで夢中に話していました。AYCは課題に目を向け、向き合うきっかけを与えてくれるものとなっています。

4日目夜に参加したAP (Area President) Night (エリア会長主催の晩餐会) でアジア各国の会員が大勢集う中、YMCAを通して国境を越えた人との繋がりが生まれるパワーを感じました。そしてその内の一人として私がこの場に居ることも嬉しく思っています。

アジア地域5カ国が参加をし、30数名とアットホームな環境によって人と人の距離が近くなりました。ここでしか出会うことのない仲間と良い時間を過ごせたことを大変嬉しく思っています。貴重な機会を与えてくださったことに感謝しております。

ありがとうございました。



<西東京YMCA便り>

出沼一弥

▼9月のプログラム報告

- | | | |
|------|--------------------------------|----------------|
| 9/3 | 幼児野外活動「にこにこ」9月例会 | 伊奈キャンプ村 |
| | 小学生野外活動「ロビンソン」9月例会 | 風の子太陽の子広場 |
| | 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」9月例会 | 伊奈キャンプ村 |
| 9/17 | 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」9月例会 | 航空公園 |
| | 発達障がい児 野外活動「Smile」9月例会 | 上野動物公園/国立科学博物館 |
| 9/23 | チャリティーラン | |

▼10月の主な予定

- 10/1 西東京フェスティバル 高尾の森わくわくビレッジ
- 10/15 発達障がい児 野外活動「Smile」10月例会
知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」10月例会
- 10/21~22 幼児野外活動「にこにこ」1泊会
小学生野外活動「ロビンソン」1泊会
中高生グループ活動「TeenS」1泊会
- 10/28~29 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」1泊会

▼今月から西東京コミュニティーセンタースタッフやボランティアリーダーの紹介をして参ります。
Y'sの方との思い出話やY'sのイメージ等、お互いを知るキッカケとなれればと思います。
今月は、ボランティアリーダーのえんがわです。

「僕とY's」

甲斐 光彦 (えんがわ)

Y'sのみなさんにはこれまで、クリスマス会や桜フェスティバルなど季節毎のイベントや東京YMCAのイベントで共に活動を行ってきました。なかでも、私がユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加した際、緊張していた私に「中間発表のとき、堂々と発表していて良かったよ。このあとも話し合いがんばってね」と声を掛けて、励ましてくださったことを良く覚えています。その後、焚き火を囲んで焼きマッシュマロを振舞っていただきながら、YMCAの楽しさや、リーダー同士で信頼関係を築くことの重要性について話し合ったこともとても心に残っています。



また、私はY'sの例会にも参加させていただいた事が、Y'sのみなさんが西東京コミュニティーセンターの事を真剣に考えている姿を見て身が引き締まる思いでした。これからも西東京コミュニティーセンターを盛り立てていく仲間として、Y'sのみなさんと共に活動をしていくのが楽しみです。



甲斐光彦 (えんがわ) 大学4年生
Smile (発達障がい児野外活動) 所属リーダー
キャンプネームの由来：
お寿司のえんがわが好きだから

10月からの予定

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 10月 | 11月 |
| • 1日 (日) 西東京フェスティバル
(高尾わくわくビレッジ) | • 8日 (水) 第一例会 |
| • 11日 (水) 第一例会 | • 11日 (土) AYC報告会 (YMCA同盟) |
| • 21日 (土) あずさ部会
(日本出版クラブ会館) | • 22日 (水) 第二例会 |
| • 25日 (水) 第二例会 (ワイズを考える会) | • 23日 (木) 西東京祭り |
| • 28日 (土) 次期主任部長研修会 | 12月 |
| | • 3日 (日) ファミリークリスマス |
| | • 9日 (土) 第二回健康増進カフェ |
| | • 20日 (水) 第二例会 |

北東部会及び宇都宮東クラブ25周年記念例会に参加して

山口 直樹

先日の9月9日(土)に宇都宮グランドホテルで開催された「北東部会」と「宇都宮東クラブ25周年記念例会」に参加した。北東部会も、引き続き行われた宇都宮東クラブ記念例会も、非常に温かみのあるもてなしで、72名の参加者が和やかに過ごせた5時間であった。

北東部会での講演会は、宇都宮東クラブのメンバーでもある金沢林子さんから、地域の中に入り込んでやられている認知症カフェ「石蔵カフェ」の実践の話であった。認知症の当事者と家族を巻き込んで、共に前向きに歩んでいる居場所「石蔵カフェ」。認知症当事者の方の「何か人の役に立つことをしたい」との声をきっかけに、ワイズが中心となって地域の方と共に作り上げたそうである。地域の方も多く巻き込んで行われていることの素晴らしさを実感した。

「石蔵カフェ」では、認知症の方またその家族の方が本当に気軽に訪れることができる「居場所」であり、また認知症の方もお客様ではなく、運営する側のスタッフとして、大変大きな働きをしている。認知症カフェを取り扱った雑誌などにも数多く取り上げられているとのこと。また、地域の方のボランティアとしてのかかわりも、自然な形で数多く見られている。今その地域で必要とされていることを実際に行っている強さを改めて感じた。

これからも宇都宮東クラブ、宇都宮クラブなどがとちぎYMCAと進む姿から学べることが多くありそうである。

第31回 東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン無事に実施

伊佐 節子

2017年9月23日(土・祝日)恒例のチャリティーランは雨模様で実施が危ぶまれたが、雨は朝のうちに上がり、肌寒い位のマラソンにとって丁度良い天気となった。西東京センターから障害者グループのあおぞらとシャベルズで1チーム(あおしゃべ24(ニシ))を結成。東京武蔵野多摩クラブと東京八王子クラブでこのチームを支援。今年度のチャリティー総額は、480万円。障害のある子ども達のプログラムを支援することになります。

当日の参加人数の報告では、こどもランは幼児～小学生450人、保護者を合わせて約700名。本競技は48チーム、ランナーと伴走者300名、ボランティアとスタッフ170名。応援の方々を入れると合計約1500名の来場者でした。



我がクラブからボランティアとして参加したメンバーは、宮内・山口・板村・大輪・麻生・小林・伊佐の7名。また、大輪・麻生・小林のメンバーは、青年時代より青少年活動(テンダン)を主宰し今日に至っていて、1チームを支援。テンダンのメンバーとしても参加。黄色の「はっぴ姿」のテンダンチームは「隠しタイム賞を獲得」31回にちなんで31分31秒に近いタイムで走破。

西東京センターのチームは参加することに意義があり、例年走っているタイムでは一番の速さであったとか?

チャリティーランは、チャック・ウイルソンが提唱し、1987年、YMCA国際賛助会(FCSC)の主催により東京で開催。今では全国20ヶ所のYMCAに広がっている。障害のある子ども達を支援し、障害への社会的な関心を高めることを目的とした駅伝大会。東京でのオリンピック控え、走ることへの関心が高まることを期待して、YMCAインターナショナル・チャリティーランの、今後のますますの発展をお祈りします。



12	19	12	Donnelley Financial Solutions Japan	31:08
			Run Run Donnelley	
18	20	35	TENDON	31:39
			TENDON	
37	21	19	TOKYO TOYOPET	31:52
			TOKYO TOYOPET FUKAGAWATEN	
52	22	30	Mitsubishi Corporation	32:00
			Team E	
12	23	5	OKAYA ELECTRONICS CORP.	32:41
			OEC YOKOHAMA SECOND	



第30回ユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加して

渡辺 大輔

9月8~10日、東京YMCA山中湖センターにて第30回ユースボランティア・リーダーズフォーラムが開催されました。私は、9、10日に参加しました。東京武蔵野多摩クラブからは、麻生、板村、大輪、小林、渡辺の計5名が参加しました。

節目の30回記念大会で、参加者全員に記念のTシャツが配布されました。今回のフォーラムの主管はわれらが東京YMCA西東京センターで、中里さん、出沼さんが引率としてプログラムを運営されていました。実行委員長は、直前の東日本区ユース事業主任が担います。今年は、大久保さん（宇都宮クラブ）でした。

このフォーラムは、リーダー経験1~2年生が対象で東日本エリアのYMCA（北海道、仙台、ぐんま、とちぎ、埼玉、千葉、東京、横浜（富士山含む））から31名が集まりました（西東京センターからは3名）。カウンセラーは、5名で西東京センターから2名（ズー、こりん）が事前のカウンセラー会を経て、フォーラムへと向かいました。フォーラムの費用は東日本区の各クラブから集めたもので運営されています。期間中参加したワイズは、全32名（部分参加含む）でした。

プログラムは、8日に東京駅集合、バスにて山中湖センターへ移動、到着後開会式、チームビルディング。2日目は、基調講演「今、リーダーに求められていること」（YMCA同盟総主事の神崎さん）、ワイズによるカレーの昼食、トウモロコシの差し入れ、キャンプファイヤー、3日間5回のグループタイムを経て、最終日、基調講演を聞いて考えたことをグループごとに発表をし、報告書作成、バスにて東京駅へ帰ってきました。

ワイズは、リーダー達とは違う建屋に宿泊しているため連日遅くまで懇親会が行われました。来年は、9月7~9日とちぎYMCA主管にて、今年と同じ山中湖センターにて実施予定です、今から予定の確保をお願い致します。



こひつじ幼稚園 中村園長からおたよりをいただきました。

9月8日、こひつじ幼稚園にて中村園長先生がこどもたちに戦争体験をお話しされたそうです。記事によると、5歳のころに太平洋戦争が始まり、9歳で千葉へ疎開し、食べ物がなくタンポポや木の葉で飢えをしのいでいたなど、戦後72年経ったそうですがいまだに忘れた日はないそうです。親子80名近くが集まり信濃毎日新聞、長野日報、茅野市民新聞に記事が載ったそうです。

